

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 3 No 3

20号


平成7年 3月 1日

お蔭様で二周年

先月の20日で、おかげさまで2周年をむかえることが出来ました。長かったようで短かったような2年間でした。日立からの新規の開業で、当時は不安のみの毎日でした。少しずつ患者さんも増え、安心したり心配したりの毎日が、今では本当になつかしく思います。ここまで来れたのも、皆様の応援のおかげと思っています。

今年の冬は、昨年と比べ、インフルエンザも流行し、混雑したときは待ち時間が長く、ご迷惑をおかけしたこともありましたが、今までと比べ十分な時間がなく、対応も不十分だったと反省しています。現実には時間あたりに診れる患者さんの数には限度があります。ときには長い説明を必要としたり、入院させたりと時間のかかる患者さんもいます。その分短くなる患者さんもできます。努力を続けるつもりですが、そんなところのご理解をお願いします。

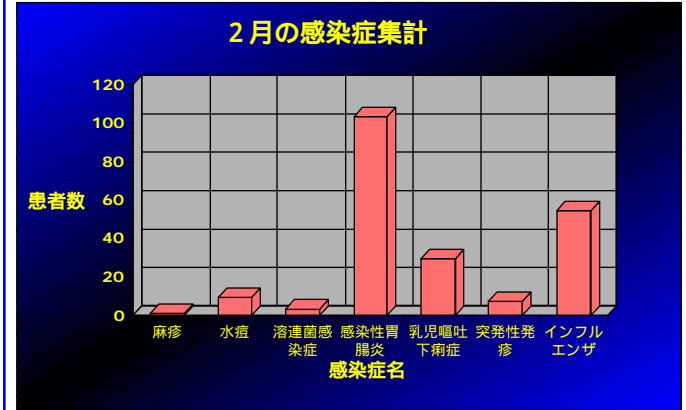
最近お母さんたちと話しててびっくりすることがあります。それは新聞のことです。説明を手短かに過ごそうと新聞をもらっているお母さんに尋ねると、余りいい返事が帰ってきません。どうしたのかと思うと、新聞はくずかごの中ということでした。確かに字数が多く読みづらいことは承知しています。前にも書きましたが、新聞作りというのなかなか大変なものです。今月号からすこし変更し、読みやすくする



3月のお知らせ
栄養育児相談
 3月1、15(水)
 栄養士担当、参加無料
 参加希望の方は受付まで。当日でも可です。


つもりです。それにしても足りないのは記事です。どうかなんでのいいですからお願いします。(ビデオを見た感想や、おほめの言葉、お叱りの言葉なんでもけっこうですからよろしくお願い致します。記事及び投書の箱を設置するつもりです。)

2年がたちましたが、まだまだと思っています。初心に帰り、努力していくつもりです。今までのように、よろしく応援お願い致します。



今回から感染症のグラフ新しくなりました。季節に応じ、多く見られる感染症を抜き出してグラフにします。インフルエンザは、御存知の通り1月後半から2月前半まで猛威をふるいました。その後はむしろ感染性胃腸炎が多く見られたため、これがもっとも多い結果となりました。インフルエンザはA香港型が主流で、2月中旬からは減少しました。しかし予想では、B型、Aソ連型も流行し、近年にない大流行となる予測もあり注意が必要です。

今年初めての麻疹が見られました。麻疹は重症なので予防接種は、早目にすませましょう。溶連菌感染症、突発性発疹症は、余り変わらず、水痘は減ってきています。



診療時間変更のお知らせ
3月11日(土)午後の診療は、仙台小児科医会総会のため**16:00**までとなります。
 ご迷惑をおかけしますが、よろしく願い致します。

ポリオ予防接種のお知らせ

4月にポリオの予防接種があります。忘れずに受けましょう。対象者は次のとおりです
 1回目 平成6年7月1日～12月31日生まれの児
 2回目 平成6年11月に1回目を受けた児
 その他投与を受けていない生後90か月までの児
 投与場所は右の表のとおりです。その他の実施区域及び不明な点は、受付で問い合わせてください。

保健所別	実施月日	曜日	実施区域	会場
青葉保健所	4月11日	火	小松島	青葉保健所
	12日	水	北六、中江	青葉保健所
	14日	金	台原	青葉区役所
	18日	火	旭ヶ丘	青葉保健所
宮城野保健所	20日	木	上杉	青葉区役所
	19日	水	燕沢	宮城野区役所
	20日	木	東仙台	宮城野区役所
	21日	金	幸町、幸町南、柊江	宮城野区役所
泉保健所	25日	火	鶴ヶ谷	鶴ヶ谷市民センター
	18日	火	南光台	泉区役所

新しい予防接種の実施について

予防接種法が、昨年10月から改正されたことはすでにお知らせしました。4月からは風疹、二種混合と日本脳炎の接種方法が変わります。新しい定期接種は、全て無料となります。実際の方法については下の表を参考にしてください。無料券については、学校で配布以外は、当院の窓口準備しておきます。接種当日にお渡ししますので、記入後窓口提出してください。仙台市以外と年齢が該当しないお子さんの接種は出来ません。不明な点は受付又は看護婦にお聞きください。



種類	対象区分	実施時期	予診表・接種券
風疹	生後12か月～小学校入学前(12～36か月)	通年	登録医療機関窓口
	小学1・2年生(生後90か月まで)	5～6月	小学校で配布
	中学2年生(14～15歳)	5～6月	中学校で配布
二種混合	小学6年生(11～12歳)	9～10月	小学校で配布
日本脳炎	1期初回 生後6～90か月(3歳)	5～7月	登録医療機関窓口
	1期追加 生後6～90か月(4歳)	5～7月	登録医療機関窓口
	2期 9～12歳(小学4年生)	5～7月	登録医療機関窓口
	3期 14～15歳(中学2年生)	5～7月	登録医療機関窓口

病気ひとくち知識 はしか(麻疹)

原因は麻疹ウイルスで、潜伏期10～12日とされ、発病1～2日前から発疹出現後2～3日は感染の可能性がある。症状は、カタル期と呼ばれ、38～39度の熱で始まり、咳、鼻汁が2～3日の経過で見られる。一度熱がやや下降した後発疹期となり、高熱とともに発疹がでて、約一週間の経過で、消失する。約1週間の発熱、咳(ひどいことが多い)の重症の経過をたどる。合併症としては、肺炎、中耳炎が多いが、脳炎がまれに見られ死亡することもある。治療は特別なものはなく、安静を保ち、細菌性の二次感染に対して抗生剤と与え、水分、栄養の補給に注意することが必要で、予防(ワクチン)がきわめて大切と考えられている。

お願い 一方的でない新聞にしたいと思っています。新聞への投書・投稿、新聞をより有意義するためのアイデア、他の患者さんへのお知らせ、病院に対する要望等、なんでも求めています。投書箱を設置しますので、よろしく!

編集後記

最近混んでいて、他の仕事に手が付きません。またまた遅れてしまいました。今回から、少し文字を大きくし読みやすくしたつもりです。どうでしょうか? ご意見お待ちしております。

